

川崎浮世絵ギャラリー 企画展 「新版画の沁みる風景——川瀬巴水から笠松紫浪まで」展が始まります

川崎浮世絵ギャラリー（川崎区駅前本町 12-1 川崎駅前タワー・リパーク 3階 / JR川崎駅北口から直結）で、1月5日（金）から、浮世絵の木版技術を受け継ぎ、さらに精緻な工程を経て大正期に生み出された、芸術性の高い斬新な版画作品、新版画を集めた企画展が始まります。

本展では大正初期より制作された風景画を中心に、新版画を牽引した川瀬巴水をはじめ、美人画で知られる橋口五葉や最後の新版画家と称される笠松紫浪が描いた、大正・昭和のノスタルジックな風景画約 90 点が一堂に会します。



<企画展概要> 「新版画の沁みる風景——川瀬巴水から笠松紫浪まで」展

会 期 令和6年1月5日（木）から2月4日（日）まで

※月曜日休館（祝日の場合は翌日）※1月9日（火）休館

開館時間 11:00～18:30（最終入館 18:15）

入館料 500 円（高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者 1 名無料）

※年間パスポート 3,000 円



いしわたみつのぶ
石渡光逸
よこはまながししまばししょけん らくよう
「横浜長嶋橋所見（落陽）」



よしだひろし
吉田 博
すずかわ
「鈴川」



かわせはすい
川瀬巴水
とうきょうにじゅっけい まごめ つき
「東京二十景 馬込の月」

<会期中の企画>

ギャラリートーク 各日 14:00～ 申込み不要 参加無料（要入場券）

1月17日（水）、1月21日（日）、1月28日（日）

※学芸員による解説で作品の世界をさらに深くお楽しみください。

※所要時間約 20 分。スケジュールは変更となる場合がございます。



ギャラリートーク等の情報は
X(旧 Twitter)で随時発信中！

画像の作品は全て(公財)川崎・砂子の里資料館所蔵
©2024 川崎・砂子の里資料館



川崎浮世絵ギャラリー
HPはこちらから

<問合せ先>

川崎市市民文化局市民文化振興室 土屋
電話：044-200-2122